

在日米軍に係る新型コロナウイルス感染症の水際対策等に関する緊急要請に対する回答

- 1 沖縄県内の米軍基地で生じた大規模感染について、原因を速やかに究明し、必要かつ十分な対策を早急に講じること。また、全国の米軍基地においても、同様の事態が生じないよう必要な対策を講じること。
- 2 米軍人等が我が国に入国する場合の水際対策について、日米両国政府が継続的に協議し、濃厚接触者への対応を含め、我が国の措置に整合的な措置が速やかに実施できる体制を構築すること。
- 3 全ての米軍基地を対象に、感染が生じた場合に新型変異株の検査が確実にできるよう、日米両国政府の責任において必要な措置を講じること。
- 4 駐留軍等労働者の感染防止について、万全の対策を講じること。

(外務省からの回答)

- 新型コロナの拡大防止は極めて重要であり、日米両政府で緊密に連携して、取り組んできています。
- キャンプ・ハンセンにおける新型コロナ感染事案については、在日米軍施設・区域所在の地元の皆様に変な御心配をおかけしています。今回、感染者が発生した部隊に対する水際措置について米側に照会した結果、日本の措置とは整合的とは言えない運用実態が明らかになったことから、12月22日、岸田総理大臣の指示に基づき、林外務大臣からラップ在日米軍司令官に対して強い遺憾の意を伝達の上、改めて感染症拡大防止のための措置を一層徹底することを申し入れています。加えて、同月24日には、キャンプ・ハンセンのみならず、全ての施設・区域においても同様の事実が確認されたことから、米側に対して改めて強い遺憾の意を申し入れたところです。
- 政府としては、御要請も踏まえ、引き続き、地元の方々の不安解消に向けて最大限の努力をするとともに、今後とも、米側の措置が日本側の措置と整合的であることを確保すべく、日米間での連携をより一層強化していきます。また、新たな情報が得られ次第、適切に関係者と共有してまいります。

(防衛省からの回答)

- 今回、感染者が発生した部隊に対する水際措置について米側に照会した結果、日本における水際対策措置とは整合的とは言えない運用実態が明らかになったため、今月22日、外務大臣からラップ在日米軍司令官に対し、申し入れを行ったと承知しています。
- 引き続き、外務省において、米側と緊密にやり取りを行っているとは承知してはいますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止することは、極めて重要な課題です。駐留軍等労働者の雇用主である防衛省としても、米側に対し、感染症拡大防止のための措置を一層徹底するよう求めてきており、引き続き、関係自治体及び在日米軍と緊密に連携してまいります。